

倫理 授業 No.7 テーマQ.&A.プリント

1. 今日のテーマ・クエスチョン

アリストテレスの一元論哲学の内容とは？

2. テーマ・アンサーのキーワードをピックアップ

※教科書P. 35・36の中から見つけよう！

プラトンから哲学を学んだアリストテレスは、プラトンの理想主義の哲学に対して、現実の個々のものを具体的に考察し、観察と経験を重んじる現実主義の哲学を説いた。彼は哲学・政治・芸術・天文・生物など広い分野を研究し、万学の祖と呼ばれる。

アリストテレスによれば、ものごとは、それが何かを決める本質となる（ 1 ）（エイドス）と、それを形づくる材料となる（ 2 ）（ヒュレー）があわさって成り立つ。たとえば、種子の中にはそれぞれの種類の木の（ 1 ）が宿り、それが水や養分などの（ 2 ）と結びついて実際の木へと成長する。すべてのものはみずからに宿る（ 1 ）を実現することを目的として、成長し、発展し、自己を完成させる（目的論的自然観）。

アリストテレスは、人間の魂にそなわるべき徳を、知性の働きをすぐれたものにする（ 3 ）と、行動や態度を善いものにする（ 4 ）にわけた。（ 3 ）には、理性によってもものごとを客観的に考察する学問的な観想（テオリア）や、目的を実現するための適切な手段を選ぶ実践的な思慮（フロネーシス）などがある。

（ 4 ）には、勇気・節制・寛大さ・機知・友愛（ < 5 > ）・正義などがある。（ 4 ）は、一定の行動を毎日繰り返して（ 6 ）化することによって、性格となって身につく習性的徳である。勇敢にふるまう人は勇気の徳を身につけ、優しくふるまう人は穏和の徳を身につける。徳にそくした行動が（ 6 ）づけられることによって、（ 4 ）が自分の心に刻みこまれ、性格として身につく。

<キーワード記入欄>

- 1 () 2 () 3 ()
4 () 5 () 6 ()

3. 今日のテーマ・アンサー（テーマ・クエスチョンの答）確認

※今日のノートに取った内容や2.でピックアップしたキーワードを参考にしよう。

T. Q. 「アリストテレスの一元論哲学の内容とは？」

T. A.

師 [①] に対してアリストテレスは、「 [②] は個物に内在する」とした。彼は [②] を [③] （形相）、個物の素材を [④] （質料）と呼び、現実に存在する個物は、この両者が結びついたものであるとした。また、完成体を現実態（ [③] にあたる）、未完体を可能態（ [④] にあたる）と呼んだ。

<記入欄>

- ① [] ② [] ③ []
④ []

[] 年 [] H No. [] 氏名 []